

活動方針

1. 大人が学校に行きたくなるようにする
2. 学校での大人の居場所を創る

わかさ

学校教育目標
・自ら学びとる子ども
・仲よく助け合う子ども
・健康で明るい子ども

第127号

ほうかごわかさ



エアスイカ割り 2年生女の子

「ほうかごわかさ」では、

すずかけルーム・体育館・図書館・校庭・学習林で遊ぶことができます。各場所には、8名のスタッフの方々が子どもたちの遊び姿を見守ってくださっています。時には一緒に遊んでくれたり、手芸を教えてくださいています。

【ある日の放課後の様子】

ホールも遊具もないところで何をしているのかな？と思いついてみると、スタッフの方がスイカの役々しゃがんで丸くなって・・・

それを子どもたちが目をつぶりの順番に見えない棒を振りかざしスイカを割りにくれています。

子どもだけで遊ぶことはできるけれど

そこに大人の目があり、ときには一緒に遊んでくれるということが、どんな遊具や玩具よりも子ども達の楽しそうな笑顔を引き出すことができるんだなあ・・・と改めて思いました。

バンドをつけるよ！



ブロック遊び 1年生男の子



シーソー遊び 1年生女の子



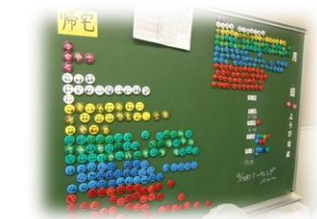
かるた遊び 3年生女の子

◆所沢市放課後支援事業「ほうかごわかさ」
「ほうかごわかさ」は、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所づくりとのびのびとした成長の支援を目的として、平成15年度に所沢小学校から始まり、現在所沢市独自の取組みとして始まったこの事業は、現在は市内10校の小学校で開設されています。それぞれの運営は、リーダー（コーディネーター）や学習アドバイザー、地域のボランティアの方々によって支えられ、子どもたちの活動を見守っています。

「ほうかごわかさ」は、市より派遣されたスタッフの皆さんにより運営されています。



自分で活動場所に移動させます



子どもたちは放課後、ランドセルを背負って「ほうかごわかさ」にやってきます。入口に並んでいるたくさんの上げき!!今現在、196名の児童の登録があり、一日に平均40名が利用しています。

受付では、参加カードを提出し、名簿で出入をチェック。そして、自分の名前の書いたマグネットを使って、どこで遊んでいるかわかるようになっています。



◆利用者（親）の声

- ◎ 夏休み、連休明けなどに子どもが行きたがるので、利用頻度が高まります。
- ◎ スタッフの方を呼び捨てにする子が目立ちます。親しみのなかにも節度を持って接する必要があります。
- ◎ 親がきちんと注意していかねばならないと思います。
- ◎ ○○先生と、呼び方を統一させてほしい。
- ◎ 手芸（ボンボン作り、編み物等）が人気です。
- ◎ 宿題をうながしてくれるのがありがたい。

◆「ほうかごわかさ」活動日・時間

- 給食がある日の放課後
- 一学期：～17時30分 二学期：～17時

◆最後に：

「ほうかごわかさ」が子どもを預ける場所という認識は、少しだけ違つと思います。放課後、大人の目のないところで危険な目に遭う子どもたちを少しでも守るという、私たち親にとってはとてもありがたい場所です。そのことを忘れず、どんどん利用させていただきたいなあと思つきました。

所沢の ところ 子どもたちが楽しく遊ぶ



広報紙「わかさ」
編集：若狭小PTA広報部
発行：若狭小PTA
〒359-1151 所沢市若狭1-2946
TEL：04-2948-3148
平成22年10月29日発行

◆「総合的な学習の時間」における課題

…… 「総合的な学習の時間」を効果的に行うには十分な準備が必要であり、有意義に活用されていない場合が少なくない。また、授業時間の減少により、基礎知識が不十分であるとされ、「基礎力がないと応用力は身に付かない」と指摘されている。

◆ゆとり教育の見直し

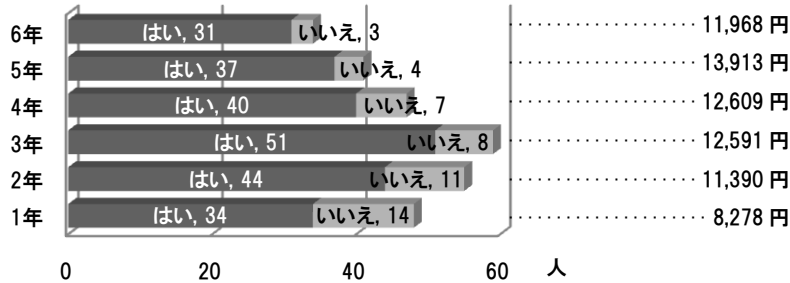
…… 確定的な評価はないまま、学力の低下が懸念され、2008年度には学習内容を増加した新学習指導要領案が公示され、マスコミからは「脱ゆとり教育」と称された。2010年度には東京都で小中学校の土曜授業を容認する動きが出ている。しかし、文部科学省は学校週5日制堅持の方針を変えていない。

◆ゆとり教育… 経験重視型のゆとりある学校を目指した教育のこと。同時に完全学校週5日制が導入され、2002年度より学習内容及び授業時間の削減がされた。ちなみに、文部科学省は「ゆとり教育」という表現はしていない。

◆文部科学省が目指す、「完全学校週5日制」と「総合的な学習の時間」…… 子どもたちに「ゆとり」確保の中で、学校・家庭・地域社会の連携の下、子ども一人ひとりに応じた指導や体験的・問題解決的な学習を行うことで「生きる力」を育むこと。

Q5.習いごとはしていますか？

習いごとの平均月額



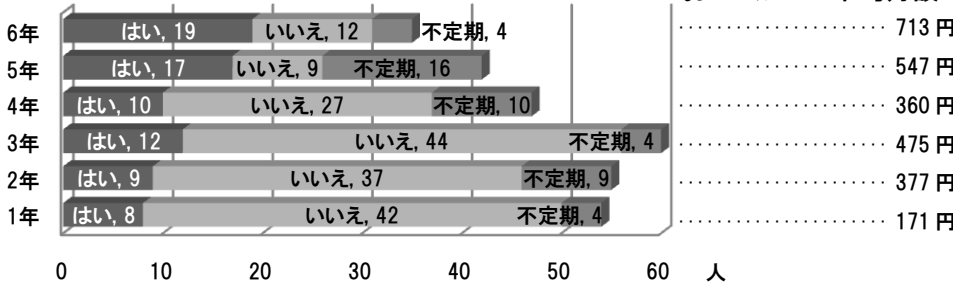
全学年での割合が高いのはスイミングでした。学習塾は、どの学年も3位以内に入り、6年生になると学習塾が1位になり逆転しています。英語も全学年で人気のようです。このほか、体操や空手など習っているお子さんもいらっしゃいました。また、表にはありませんが、やらせてみたい習いごとランキングには、これらの習いごと以外にも、習字が上位に入っていました。

習いごとランキング

1年		2年		3年		4年		5年		6年	
1位	スイミング 15人	1位	スイミング 17人	1位	スイミング 20人	1位	学習塾 15人	1位	スイミング 15人	1位	学習塾 12人
2位	学習塾 9人	2位	音楽系 15人	2位	学習塾 15人	2位	スイミング 14人	2位	習字 14人	2位	スイミング 9人
2位	サッカー 9人	3位	英語 7人	2位	音楽系 15人	3位	音楽系 11人	3位	学習塾 13人	3位	英語 8人
4位	英語 8人	3位	学習塾 7人	4位	英語・習字 各10人	4位	英語 9人	4位	英語・サッカー 各6人		

Q6.おこづかいはあげていますか？

おこづかいの平均月額



金額にばらつきがありますが、多くの方が学年×100円を目安にしているようです。意外にも決まったおこづかいをあげている家庭が少なく、自分で買い物をする機会が多くなる高学年になり、決まったおこづかいをあげるようになるようです。

Q7.子どもに携帯電話を持たせていますか？

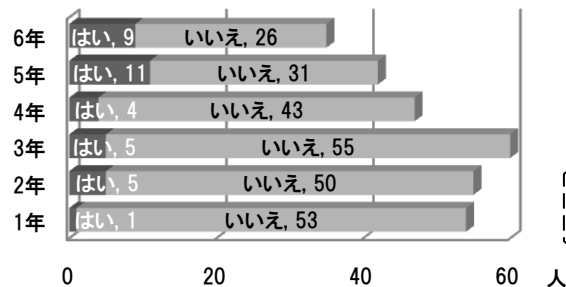
<携帯電話を持たせてよかった点>

- ・仕事をしているので、夏休み中など連絡を取りやすい
- ・友達と遊ぶ時、習いごとの送迎などで、すぐに居場所が把握できて安心

<携帯電話を持たせてわるかった点>

- ・キッズ携帯なので、インターネットもできずわるい点はない

駅でわからないことがあったときに、本来なら駅員に聞いたりするところ、携帯電話を持っていると、すぐに親に電話をかけて聞いてしまうというエピソードも…



「脱ゆとり教育」は、ゆとり教育の問題を解決するために始まった動きであるが、単に暗記や暗唱が中心の教育に戻したり授業時間を増やしたりする方法では、日本の教育が抱えている課題は解決できないであろう。

何よりも大切なことは、やはり家庭で子どもにどう接するか親が考えていくこと、ありきたりだが、それに尽きるのではないだろうか。子どもは、大人が思う以上に、どんな環境にも対応できるものである。重要なのは、私たち大人が、いつどのように手を差しのべ、「サポート」していくことができるのかである。

——実は生まれたての子どものなかに、すでに自立して生きていくために必要な全ての知恵の芽が存在しています。(中略)一人ひとりの表現の仕方に差はあっても、子どもの好奇心ややりたがり、人が自立して生きていくうえで必要なことを学ぶために自然が与えた力なのです。(中略)子どもは時間をかけて自分の知っていることを発見していきます。自分の力で生きることが学べるように、親が環境を整えてあげれば、子どもは自分のなかにある知恵を芽生えさせることができるのです。——(PHP文庫 菅原裕子『子どもとコーチング』より抜粋)

新学習指導要領は、小学校では、二〇〇九年度に一部前倒しで行われ、二〇一一年度に完全に行われる。危機感をあおられ、本来目指した『ゆとり』までも失われてしまわぬよう、学校・家庭・地域社会の子どもたちへの積極的な働きかけが必要なのではないか。

2010 わかさっ子

この広報部では、近年のゆとり教育の見直しを受け、若狭小学校での教育、また家庭生活にどのような変化があるのか、7月に「家庭生活と学習に関するアンケート」を実施いたしました。アンケートにご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。2007年度に行ったアンケートとの比較も目的としていましたが、比較するに十分なデータが得られなかったため、2010年度のアンケート結果を中心にまとめさせていただきました。2007年度のデータは参考値としてご覧ください。

日頃、私たちが子どもたちの生活・教育について思っていることなど、互いに知る機会になればと思います。

※右ページの◆の説明は、文部科学省ホームページ及びWikipediaを参考にしました

<アンケート集計数>

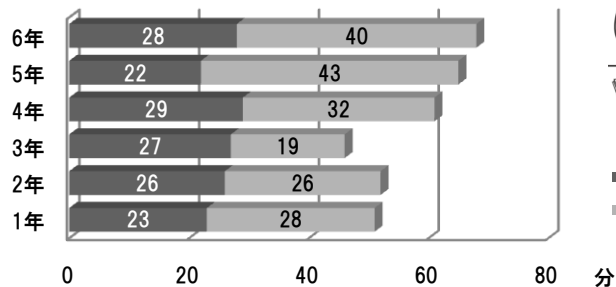
- ・児童数 664人 うち回答数 293人
- ・学年別回答数 1年…54人 2年…55人 3年…60人
4年…47人 5年…42人 6年…35人

タイムスケジュール

	起床時間		夕食時間		就寝時間	
1年	6:33	6:46	18:44	18:50	21:06	21:11
2年	6:41	6:46	18:53	18:52	21:02	21:13
3年	6:37	6:40	18:54	18:50	21:25	21:12
4年	6:42	6:41	18:57	18:53	21:33	21:23
5年	6:39	6:45	19:04	18:59	21:54	21:47
6年	6:41	6:46	19:05	18:55	22:00	22:04

■ は2010年度、□ は2007年度のアンケート結果
全体的に学年が上がるにつれ時間が遅くなり、特に夕食・就寝時間は、2007年度に比べておおむね遅くなっている傾向にあります。

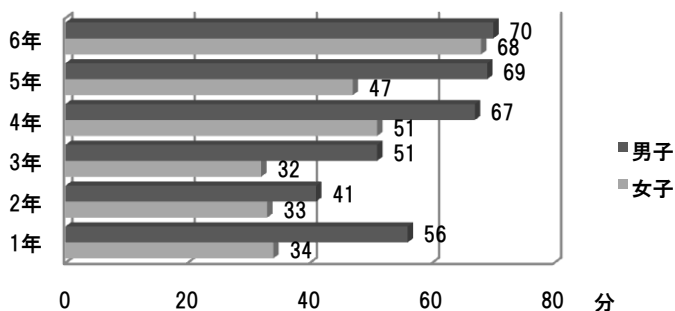
Q3.家庭学習時間は？



■ 宿題
■ 自主学習

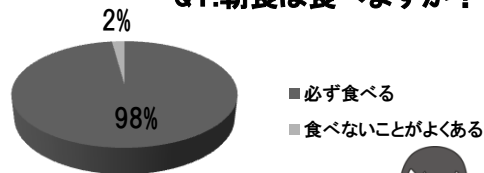
宿題にかかる時間は大きく変わりませんが、自主学習にかかる時間は学年が上がるにつれ、増加しています。また、参考として2007年度のデータを示すと、1年生が28分、2年生が33分、3年生が45分、4年生が47分、5年生が47分、6年生が60分であり、大幅に家庭学習時間が増えています。さらに、2007年度は主に宿題のみという意見が多かったのに対し、2010年度はその他の自主学習にかけることが多くなったようです。ゆとり教育により、学習における家庭の役割が重要視されているためでしょう。

Q4.ゲームをする時間は？



どの学年も男子の方が長時間ゲームを行っているようです。また、2007年度の6年生の51分と比べると、大幅にゲームをする時間が増加しています。

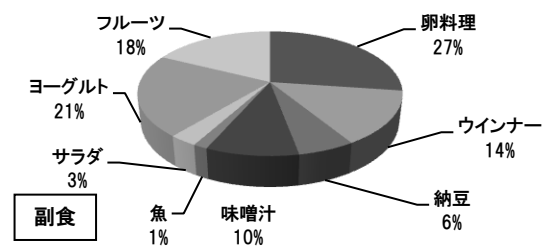
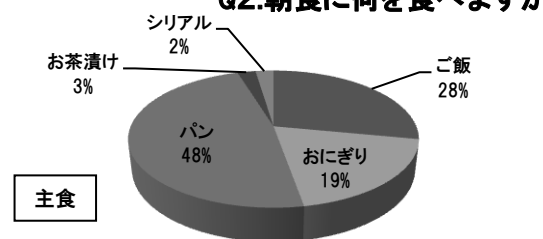
Q1.朝食は食べますか？



朝食は、全学年合わせてほとんどの家庭で食べています。回答いただいたなかには全く食べない家庭はありませんでした。



Q2.朝食に何を食べますか？



主食はパンの家庭が多いです。おにぎりは低学年の児童を持つ家庭に多く、少しでもご飯を食べて学校に行けるようにという工夫がみられます！他にもホットケーキ、チャーハン、おもちもありました。

⇒ みんなの声

◎土曜日でも授業をして、平日はもう少し早く家に帰れるとよいと思います。

◎授業時間が増えていますが、夏は教室が暑いので集中して勉強ができません。室内でも熱中症になりますので、扇風機を入れてほしいです。

◎勉強も大事だと思うのですが、マナーとか道徳とか、人の気持ちを思いやることや、想像力を伸ばすことを学ぶ時間を増やすといいのかなと思いました。

◎高学年の場合は、もともと授業時間が増えていく時期なので、ゆとり教育の見直し前と比べて違いを感じません。我が家には高2の子供がいますが、ゆとり教育のなかで育ったからといって、今現在特に問題なく進学に向けて勉強しています。子どもは意外と環境に適応する能力があるので、家庭は子どもを見守り、必要に応じた「サポート」をしていけるように努力したいと思います。

若狭小にもある「給食費未納問題」

若狭小PTA会長 中澤 理

先日、校長先生と話す機会があり、支給され始めた「子ども手当」の話になりました。

子どもを育てるためのお金の話をいろいろしている中で給食費の話になり、以前からテレビや新聞で騒がれていて気になりましたので「若狭小で給食費を払わない家庭はあるのですか？」と伺ってみました。

残念ながら、答えは「あります。」でした。

月により人数は変わりますが、もちろん未納者のお名前は伺っていませんが、月平均 1.5 人くらいの未払いがある、ということです。600 人のうち 1 人か、時には 2 人程度ですが、「たまたま残高不足で引き落としができなかった」という方ではなく、「催促しても払わない」方がいるのです。経済的な事情で支払いが難しい家庭分は市から支払われる制度があることを考えると、ここでいう「未納」は、理論上「払えない」ではなく、「払わない」ということです。

若狭小学校の給食は「給食センター」で作られています。給食センターで給食を作る人の人件費は、私たちの給食費からではなく、市から（税金から）支払われますので、私たちの給食費が使われるのは、肉や野菜などの材料費だけです。材料費だけです、給食センターでは他の学校の給食も一緒に作ったりしていますので、1 人の未払いで、おかすが一品減るとということにはならないでしょうが、一人の「払わない」人の分を、回り回ってきちんと払っている数百人が負担しているということには代わりありません。

きちんと払っている人が払わない人の分を負担することも問題ですが、それとは違う、もっと大きな問題があります。それは、未払いの対応で、先生が「教育のために使うべき時間を割いている。」という事実です。

給食費は、本来、給食センターが直接保護者から集金すれば良いのですが、それでは必要数などをまとめるのが大変ということで、学校が集金を任されています。先生は、子どもたちに勉強を教えるのが本来の仕事なのだと思いますが、給食も教育の一環であるという大義名分もあり、給食費については、すべての保護者が問題なくスムーズに支払うことを前提に集金を任されているのです。しかし、実際は、「すべての保護者が問題なくスムーズに」支払ってはいないのです。

教えることはプロでも、集金のプロでない先生にとって、督促や事務処理は、実働的にも精神的にも本当に余計な仕事であり、たとえば、授業の準備に影響が出るかもしれないほどの大きな負担です。一人でも未納があると、全員がスムーズに払う場合と比べて、極端にその負担が増えます。結果としてそれは、「子どもたちの教育に使うべき先生の時間を減らしている。」ということです。

加害者は、給食費を払わない保護者であり、被害者は子どもたちです。

もしも未払いの給食費にお心当たりがありましたら、子どもたちのために、少しでも早くご精算いただき、今後も「問題なくスムーズに」お支払いいただきたいと思います、切に思います。



若狭小PTA広報部では、みなさまの投稿をお待ちしています！
PTA活動、また個人での投稿も大歓迎です。若狭小PTAの「わ」をみなさんで広げていきましょう！
メールでの投稿はこちら
wakasa-koho2010@goo.jp

若狭小PTA広報部一同

願っていたします。今号は、文字の多い編集となりました。広報部のメンバーなりに教育や子どもの未来について真剣に考え、一つの考えとして掲載させていただきます。率直なご意見などお寄せいただき、次号で紹介させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

消しゴムはんこ作り

広報部員レポート

「消しゴムはんこ作り」がやりにくくて、途中から学級生になった私。作成&広報の取材も...という形で参加してきました。



9月14日、フレンドシップルームで行われた家庭教育学級「スマイルクラブ」に51人の参加者が集まりました。講師は山本末希子先生（通称びよろさん）。「消しゴムはんこ作り」のほか、「エゴッコバック作り」も加わって製作開始！家庭教育学級委員さん

10月18日（月）視聴覚室にて、淑徳大学講師 田部真一先生をお招きし「あなたが育てる子どものやる気」をテーマに子育て公開講座が開かれました。田部先生からは「母親は子どもの応援隊長である」「子どもの良い所を見つけて誉める」など今すぐ実行出来る子育てのヒントを沢山いただきました。講演会は先生の温かいお人柄を感じることができ、大変好評でした。今回は公開講座ということで家庭教育学級生以外の保護者や、近隣の小学校の方にも多数ご参加いただきました。お忙しい中ありがとうございました。

子育て講座開催しました

参加者のフォローをしてくださいました。インタビュースするものは自分の作品に没頭してしまいましたが、初心者向けの大きめの図案で、不器用な地で行く私でも、作品を完成させることができ、嬉しさを心しておでした。



選考委員会よりお知らせ

選考委員会は、9月より来年度の本部役員の見直しに向けて準備を進めています。毎年、自薦ではなく匿名の他薦に頼った選考となつてしまっているのが現状です。そこで、本部役員の仕事を知らせていただけるようブログを通して質問にお答えします。ブログには、仕事内容の詳細を書いた記事もありますので、興味のある方もない方も、ぜひ一度ブログをご覧いただけると嬉しいです。お気軽にブログにコメントをお寄せください。

↓ブログ『若狭小』若狭小PTA2010』
<http://wakasapata.com/>

ベルマーク集計しました

日頃よりベルマーク活動にご協力いただきありがとうございます。環境委員会では10月21日（木）、図書ボランティアさんとその有志の方々と共に第2回集計作業を行いました。設置している各回収箱より、約6300枚ものベルマークが集まりました。どのクラスも、たくさんベルマークを

黙々と... 10/21集計作業風景



ちいさなマークは扱うのが大変！（*_*）少し大きめに切ってくださいね。

集まったベルマークは図書室の図書の購入に使用されます。皆さま、ありがとうございます。引き続きご協力をお願いします。

◆編集より
ベルマーク運動は、だれでも気軽に参加できるボランティアです。『すべての子どもに等しく豊かな環境で教育を』という願いを込めて、1960年に始まりました。PTAと協賛する企業とベルマーク財団により活動しています。

提出していただきました。上位5クラスは以下の通りです。

1位	1・1・3	698枚
2位	3・1	545枚
3位	2・1	428枚
4位	5・3	357枚
5位	2・3	340枚

集まったベルマークは図書室の図書の購入に使用されます。皆さま、ありがとうございます。引き続きご協力をお願いします。

編集後記

今年度の広報もこれで3号目となりました。広報からPTA、PTAから広報へという目標を掲げてから半年、各部の協力をよりPR担当の力を立ち上げていただき、今号では各部より多くの投稿をいただきました。本当にありがとうございました。

おかげさまで、この「広報わかさ」が昨年引き続き、所沢市PTA連合会の広報紙コンクールで銀賞を受賞しました。入間地区では12校中上位12校に贈られる大変な名誉な結果となり、嬉しいのとホッとしたので感激しております。